



城北小だより

12月号

令和5年11月30日

さいたま市立城北小学校

TEL 048-757-5391

児童数698名

◇学校教育目標◇

「考える子 思いやりのある子 がんばりぬく子」

心と体の成長

校長 中村 篤

11月18日に全校音楽会を実施しました。当日はたくさんの保護者の方に参観いただきまして、ありがとうございました。子どもたちはこの日のために、教職員の熱心な指導の下、連日練習を重ねてきました。

1年生は「11ぴきのねこ」という物語をかわいい歌と振り付けで元気いっぱい表現してくれました。2年生は鍵盤ハーモニカの演奏と元気な歌声で、本当に森を探検しているような楽しい気分にさせてくれました。3年生は「届けよう 優しい音色と明るい歌声」というテーマで、リコーダー二重奏と元気な歌を披露してくれました。とてもきれいな音色と歌声でした。4年生は「響かせよう すてきなメロディ」というテーマで、二部合唱では素敵なハーモニーを、南中ソーランでは和太鼓をはじめ、色々な楽器を使った迫力のある演奏を披露してくれました。5年生のリコーダーによる演奏は全員の音がきれいにそろっており、とても美しい曲となりました。また合唱では声の強弱に気を付けて歌うことができ、レベルの高い合唱となりました。6年生は「117人 心を一つに ハーモニー」というテーマで合奏と合唱を披露してくれました。アフリカン・シンフォニーの合奏では一人ひとりの楽器がそれぞれ力強い音色を奏で、非常に難しい曲を全員で作ることができました。合唱もさすがは6年生と言えるくらい、とても素敵でした。

音楽会が終わった後、子どもたちからは「緊張した」「楽しかった」「頑張った」という言葉がたくさん聞かれました。発表を見ていた保護者の方のニコニコした笑顔も印象的でした。子どもたちの成長を感じることのできる素晴らしい音楽会でした。

11月21日に学校保健委員会を実施しました。前半は5・6年生の保健委員の児童から、本校のけがや感染症の発生状況とその防止対策などについて発表があり、養護教諭からは身体測定や視力検査、歯科健診の結果について報告がありました。文部科学省から先日発表された2022年度の学校保健統計調査によると、裸眼視力が1.0未満の小学生が37.88%（1979年は17.91%）で過去最高となったそうです。本年度の本校の1.0未満の児童は38.67%でした。また、むし歯がある小学生（処置完了者を含む）は先の調査によると37.02%で過去最低となり、本年度の本校児童においては29.36%でした。

後半は雪印メグミルク株式会社の森永加奈子様に骨の健康を維持するポイントについてオンラインにてご講話いただきました。骨を強くするためには、カルシウムを多く含む食材（牛乳や乳製品、大豆製品、海藻、小魚、緑黄色野菜など）積極的に摂ることが大切で、特に牛乳や乳製品のカルシウム吸収率がよいということです。今年度学校で骨折した児童も多数おり、もちろん骨の弱さがすべての原因ではありませんが、骨折をしないようにするためにも、カルシウムやその吸収率を高めるためのビタミンDなど、バランスの取れた栄養を摂取することが大切であると考えます。ちなみに、6年生の息子は牛乳が大好きでジュースそっちのけで「牛乳が一番うまいな！」と言いながら飲んでおり、気付くと身長が私に迫ってきています。また、本校の教頭も子どものころから牛乳が大好きで、家庭では今でも傍らに牛乳パックを置いて飲みながら仕事をしているそうです。本人も「だからこんなに大きくなったのかも」と振り返っています。

元気に学習や運動、遊びをするにも、まずは丈夫な体づくりからです。疾病については早めの受診と治療をお勧めします。また、早寝早起き朝ごはんなど規則正しい生活習慣を身に付けられるよう、ご家庭におかれましてもご協力のほどよろしくお願いたします。